

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	介護福祉士実務者研修(無資格)			
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信スクーリング(回数 7 回)			
指定講座番号(15桁)	3710019	—	2020011	— 1
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 年 月 日	過去一年の講座実績 令和8年9月30日まで	入講者数(48人)	修了者数 (48人)
訓練期間	6ヶ月	総訓練時間	462時間	
1. 教育訓練目標				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()			
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護・医療・福祉業界及び高齢者・障害者(児)に関する サービス業界等			
2. 教育訓練の内容				
教科(カリキュラム)	時間	使用教材名		
人間の尊厳と自立	5	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
社会の理解 I・II	35	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
介護の基本 I・II	30	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
コミュニケーション技術	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
生活支援技術 I・II	50	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
介護過程 I・II・III	90	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
発達と老化の理解 I・II	30	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
認知症の理解 I・II	30	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
障害の理解 I・II	30	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
こころとからだのしくみ I・II	80	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
医療的ケア・演習	62	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
	462			
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)				
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度が望ましい			
③その他				

[特記事項]

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	48	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	19	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	16	人	受験率(③/②)	84.2	%
④ ③のうち合格者数	13	人	合格率(④/③)	81.3	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	68	人	就職・在職率(⑤+⑥)/②)	100.0	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	48	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	32	人	②A:就業者計 48	
	2 非正社員、派遣社員	15	人		
	3 その他の就業(自営業等)	1	人		
	4 非就業	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	33	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	3	人		
	4 円滑な転職に役立つ	7	人		
	5 趣味・教養に役立つ	1	人		
	6 その他の効果	3	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	30	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	18	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法	
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	添削課題を期日までに提出し、合格点70点以上。スクーリングは全日程参加し、カリキュラムを全て履修し、習得度(技術)評価において70点以上を合格とする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所: ヤマリニア福祉カレッジ 尚松教室、普通守教室、丸電教室、二豊教室 時期: レポート提出後 期間: 2週間程度 回数: 介護過程Ⅲ(実技)6回 ・医療的ケア演習 2回

専門実践教育訓練明示書（様式例）

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	介護福祉士実務者研修(介護職員初任者研修修了)			
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信スクーリング(回数 8 回)			
指定講座番号(15桁)	3710019	—	2020021	— 4
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 年 月 日	過去一年の講座実績 令和8年9月30日まで	入講者数(60人)	修了者数 (60人)
訓練期間	4ヶ月	総訓練時間	332時間	
1. 教育訓練目標				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()			
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護・医療・福祉業界及び高齢者・障害者(児)に関する サービス業界等			
2. 教育訓練の内容				
教科(カリキュラム)	時間	使用教材名		
人間の尊厳と自立	0	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
社会の理解 I・II	30	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
介護の基本 I・II	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
コミュニケーション技術	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
生活支援技術 I・II	0	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
介護過程 I・II・III	70	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
発達と老化の理解 I・II	30	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
認知症の理解 I・II	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
障害の理解 I・II	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
こころとからだのしくみ I・II	60	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
医療的ケア・演習	62	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
	332			
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)				
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度が望ましい			
③その他				

[特記事項]

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	60	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	22	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	18	人	受験率(③/②)	81.8	%
④ ③のうち合格者数	15	人	合格率(④/③)	83.3	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	60	人	就職・在職率(⑤+⑥)/②)	2.7	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	60	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	42	人	②A:就業者計 59	
	2 非正社員、派遣社員	16	人		
	3 その他の就業(自営業等)	1	人		
	4 非就業	1	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	41	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	2	人		
	4 円滑な転職に役立つ	7	人		
	5 趣味・教養に役立つ	2	人		
	6 その他の効果	5	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	41	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	18	人		
	3 どちらとも言えない	1	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法	
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	添削課題を期日までに提出し、合格点70点以上。スクーリングは全日程参加し、カリキュラムを全て履修し、習得度(技術)評価において70点以上を合格とする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所: ヤマリヤ福祉カレッジ 高松教室、普通守教室、丸亀教室、二豊教室 時期 : レポート提出後 期間 : 2週間程度 回数 : 介護過程Ⅲ(実技)6回 : 臨床的ケア演習 2回

専門実践教育訓練明示書（様式例）

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	介護福祉士実務者研修(訪問介護員2級修了)			
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信スクーリング(回数 8 回)			
指定講座番号(15桁)	3710019	—	2020031	— 7
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 年 月 日	過去一年の講座実績 令和8年9月30日まで	入講者数(7人)	修了者数 (7人)
訓練期間	4ヶ月	総訓練時間	332時間	
1. 教育訓練目標				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()			
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護・医療・福祉業界及び高齢者・障害者(児)に関する サービス業界等			
2. 教育訓練の内容				
教科(カリキュラム)	時間	使用教材名		
人間の尊厳と自立	0	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
社会の理解Ⅰ・Ⅱ	30	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
介護の基本Ⅰ・Ⅱ	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
コミュニケーション技術	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
生活支援技術Ⅰ・Ⅱ	0	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	70	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	30	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
認知症の理解Ⅰ・Ⅱ	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
障害の理解Ⅰ・Ⅱ	20	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ	60	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
医療的ケア・演習	62	介護職員等実務者研修テキスト(中央法規出版)		
	332			
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)				
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度が望ましい			
③その他				

[特記事項]

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	19	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	7	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	6	人	受験率(③/②)	85.7	%
④ ③のうち合格者数	5	人	合格率(④/③)	83.3	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	7	人	就職・在職率(⑤+⑥)/②)	100.0	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	19	人				
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	8	人	②A:就業者計 19	②B:非就業者計	
	2 非正社員、派遣社員	11	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人			
	4 非就業	0	人			
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	15	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人			
	3 社内外の評価が高まる	0	人			
	4 円滑な転職に役立つ	3	人			
	5 趣味・教養に役立つ	0	人			
	6 その他の効果	0	人			
	7 特に効果はない	1	人			
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人			
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人			
	4 趣味・教養に役立つ	0	人			
	5 その他の効果	0	人			
	6 特に効果はない	0	人			
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人			
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	0	人			
	4 就職していない	0	人			
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	15	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)		
	2 おおむね満足	4	人			
	3 どちらとも言えない	0	人			
	4 やや不満	0	人			
	5 大いに不満	0	人			

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法	
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	添削課題を期日までに提出し、合格点70点以上。スクーリングは全日程参加し、カリキュラムを全て履修し、習得度(技術)評価において70点以上を合格とする。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所: キヤリナ 岐阜カレッジ 高松教室、吉田守教室、丸尾教室、二豊教室 時期: レポート提出後 期間: 2週間程度 回数: 介護過程Ⅲ(実技)6回 ・医療的ケア演習 2回

専門実践教育訓練明示書（様式例）